

2023 年 4 月 30日

2022 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名..... 緑を愛する会 日野.....

代表者・役職名 氏名 (代表)佐伯直俊.....

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

樹木 花咲いさんプロジェクト

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

フィールドの仲田の森蚕糸公園は、かつて緑豊かな森の様相を呈していた。公園として一般開放される際、次世代にそのエッセンスを残したいと考え、緑地への配慮を求めた署名活動が弊会のスタートである。日野市担当者と話し合いの上、当初の計画よりも緑地帯を多く残した。開発前の植物を人の手で一本一本移植し、ビオトープとして現在に至る。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

公園に四季折々の花々が咲く樹木を植えて、人と自然の親和性を高め、緑深い公園とともに花咲く公園に変えていき、花を自然への入口として「人と自然の和」を目指していく。自然という漠然としたイメージが「花」により具体化され、人々にとって自然への共通の入口となる。花を植えつけ、育て、咲かせることで、来訪者の自然への興味を今まで以上に持ってもらうと同時に、コロナで荒んだ心を一時でも癒せたらと思う。活動を共にする仲間とは達成感を共有し、自然を介した仲間意識の醸成にも役立てていきたい。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

緑を愛する会日野のメンバー、または興味を持っている方々と一緒に花咲く樹木を植える。草本ではなく木本を選んだのは、来年以降も長期継続的に咲くことが期待できるからである。手順は植物を植えつける土づくりからスタート。土を用意し、堆肥や肥料をふんだんに入れる。植えつけに適した土ができれば購入した植木を植えつける。またそれらの作業に必要な道具を保管する物置を設置。また金属製看板を設置して植えた植物の紹介等を行う。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

花壇が立派になったことで当方の「やる気」をご覧頂いた方々から、今まで以上の様々な支援があった。具体例の一つは、地元の方から「瓦」の提供があり花壇の仕切りに使って、なお一層格式高い立派な花壇になった。もう一つは地元企業の方が植えつけや草刈作業に継続的に参加するようになった。この活動に役所の方からもバックアップ頂けた。それらにより活動に休みがちだったメンバーも頻繁に参加するようになった。活動実施回数 25 回、のべ人数 75 人。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

花壇を立派にする過程は変化があり、新しいものが成長する楽しみがあるので人やモノが集まりやすいが、今回の助成後の継続的な活動に変化をつけるのは難しくなってくるので、どのように変化を見つけ、協力者の興味関心を引続けるか課題となる。参加者の達成感を得られるような方策を助成があるうちに下準備していきたい。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください。

